



# ねんちゅうだより

令和6年6月6日  
川口市立舟戸幼稚園  
年中組

梅雨の季節を迎え、アジサイが鮮やかに花咲く季節となりました。子供たちは好きな遊びをしたり、「〇ちゃんおはよう」「〇〇ちゃん一緒に遊ぼう」と声をかけたりして、友達と関わって遊ぶ姿が多く見られ、元気いっぱい幼稚園生活を過ごしています。

今後も遊びや活動を広げ、一人一人の思いを大切に受け止めながら、子供たちと関わって過ごしていきたいと思います。今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 大好きなごっこ遊び

「お腹がすいたニャー」「ネコさんのお家をつくろうよ」と、お面を作ったり、段ボールを使ってネコのお家を作ったりして、ごっこ遊びを楽しんでいます。また、好きな時間にて、製作を行っていた友達の作品を見て、園児から「たくさん作ってお店屋さんしたらいいんじゃない？」と提案があり、様々なものを製作して、ごっこ遊びの準備を楽しく行いました。遊びを通して、友達の名前を呼び合ったり、順番や遊び方を伝え合ったりなど、少しずつ友達との関わりも深まっています。

また、様々な素材を使用して魚をつくり、釣りを楽しんだり、ブロックや積み木で家やバイクをつくったりして、遊びに必要なものをつくって遊んでいます。教師も遊びの仲間に入りながら、子供同士の関わりをきっかけをつくったり、自分の思いを上手く伝えきれていない場面では、言葉の仲立ちや架け橋となったり、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるように援助しています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『健康な心と体』『協同性』『思考力の芽生え』につながる姿が見られます。

## 絵の具あそびたのしいね

天気の良い日には、ダンゴ虫やテントウムシなど、その他園庭で様々な虫を探したり、捕まえたりして自然に親しみながら遊んでいます。テントウムシを見つけて、嬉しそうにしている姿が多く見られたため、クレヨンや絵の具、シールを使ってテントウムシの製作を行いました。クレヨンで模様を描いた上から絵の具を塗る『はじき絵』を行いました。その際に、どんな模様や柄にしようかオリジナルのテントウムシの模様を楽しみながら製作する姿が見られました。ハサミや絵の具を使った製作を行い、ハサミの持ち方や筆の使い方を経験し、少しずつ上手になってきています。園児の製作した物を保育室の壁に飾ると、「私のテントウムシが飛んでる！」「これ私のでしょう？」「これは誰のかな？〇〇のなのね！」と大喜び。製作の楽しさを感じ、その後の好きな時間に、学んだ製作方法を使っている姿が見られ、思考の幅も広がっているように感じています。6月に入り、梅雨の季節を迎えました。今月の花や生き物を一緒に考え、「雨を降らせたいね」「カタツムリがいるといいね」「アジサイもすてきじゃない？」などと、季節がどのように移り変わっているのかを、身の回りを観察して感じてくれています。遊びや生活の中で、感じたものを描いたりつくったりして、いろいろな方法で思いやイメージを表現する楽しさを味わえるようにしていきたいと思います。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『自然との関わり・生命尊重』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。

## 6月・7月は次のようなねらいをもって進めていきます

- 自分なりの思いやイメージをもって、友達や先生と関わって遊ぶことを楽しむ。
- いろいろな素材や用具に親しみ、つくったりつくったもので遊んだりすることを楽しむ。
- 水遊びに興味をもち、水の感触や心地よさを味わう。
- 生活や遊びに必要な身支度の仕方が分かり、進んで取り組もうとする。

